

『Agilent University 2012』

基礎セミナーⅨ in 四日市

～サンプル前処理から
質量分析の基礎講座～

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

毎年、好評いただいております本基礎セミナーは、今年から『Agilent University 2012』と名前を改めまして、GCやLCといった分離分析のみでなく、アジレントで扱っている製品群の基礎をご紹介します。今年5月 名古屋で2日間開催し、定員200名のところ、230名のたくさんの方に参加して頂きました。誠にありがとうございました。

GC・GC/MS基礎に UV-VISやFTIRといった分光光度計の内容を追加いたしまして、7月27日四日市でも開催いたします。ラボの高い生産性を実現するために、分析の基礎を復習する機会にご利用いただければ幸いです。

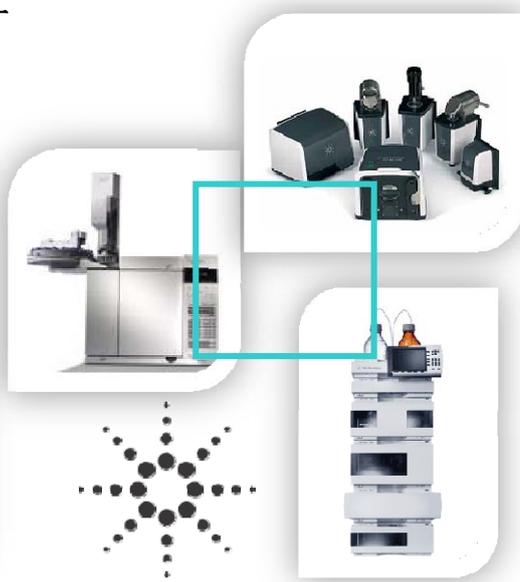
ぜひ本セミナーにご参加くださいますようお願い申し上げます。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

敬具

横河商事株式会社 分析営業本部 取締役 鈴木 真司

主催者 横河商事株式会社
日程 2012年7月27日(金) 基礎セミナー
場所 じばさん三重 (四日市)
参加費用 無料
定員 70名



【場所】

じばさん三重
〒510-0075
三重県四日市市安島1丁目3番18号
TEL:059-353-8100

【アクセス】

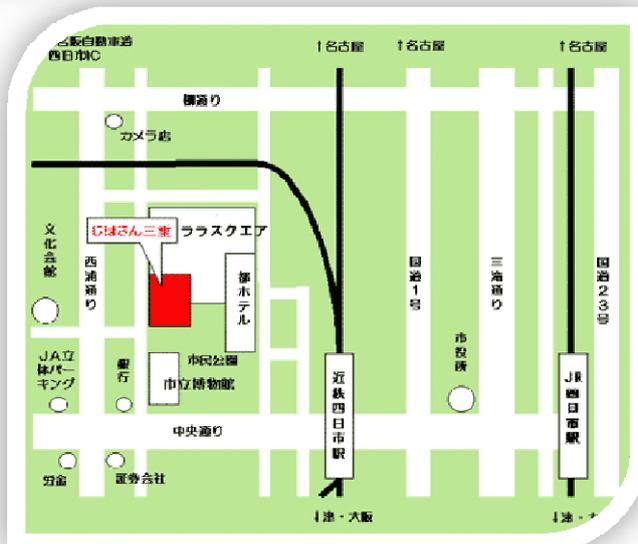
近鉄四日市駅から徒歩5分
※当センターへはなるべく公共交通機関をご利用ください。

名古屋からの場合

近鉄名古屋 9:01 発 - 近鉄四日市 9:34 着
名古屋線(急行) 松阪行
近鉄名古屋 9:10 発 - 近鉄四日市 9:37 着
近鉄特急 賢島行

三重交通バス

JR四日市9:29⇒近鉄四日市9:35
(経由)近鉄四日市 (行き先)ガーデンタウン東日野
JR四日市9:33⇒近鉄四日市9:49
(経由)東新町・近鉄四日市 (行き先)市立病院



Agilent Technologies

【お問合せ】

Agilent Technologies Authorized Distributor

横河商事株式会社 分析営業本部

TEL052-471-7124 FAX052-461-0279

yclana@ycl.yokogawa.co.jp

『Agilent University 2012』 基礎セミナーIX in 四日市

プログラム

9:40	受付開始
10:00-10:05	開会の挨拶
10:05-12:00	GC用試料導入装置の基礎 各種装置の原理、求められる機能、使用例などの紹介
12:00-13:00	昼食(※昼食の提供はございません。)
13:00-13:50	アジレントの分光光度計UV-VIS、FTIRの最新技術
13:50-13:55	小休憩
13:55-14:45	GC分離の基礎
14:45-15:05	休憩
15:05-16:40	各種GCMSの基礎及び定性分析へのアプローチ
16:40	質疑応答

日程とプログラムは変更する場合がございます。最新プログラムは 横河商事 へご確認ください。

<<<< 申込書用紙/横河商事 行き >>>>

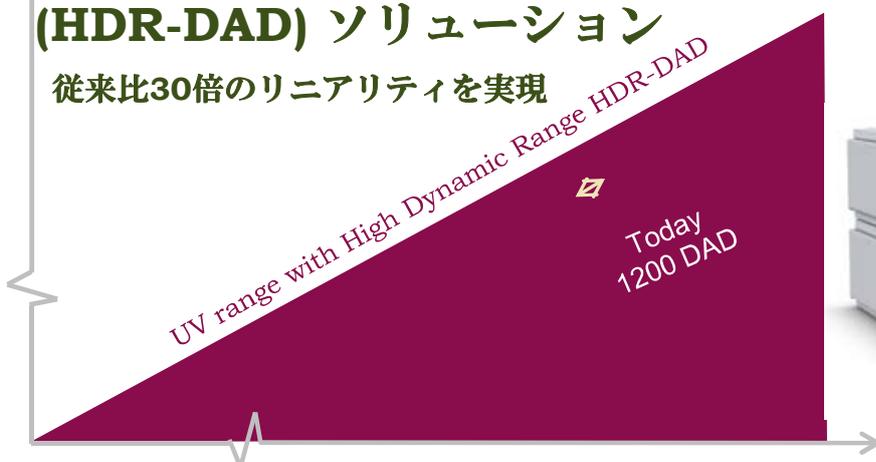
お申込は、FAX:052-461-0279まで

2012年7月27日(金) 基礎セミナー(四日市) 申込み

勤務先所在地	〒	
会社名/所属団体名		
事業所/所属		
電話番号		
FAX番号		
参加者氏名 E-mailアドレス		役職: @
上記アドレス宛に新情報満載のe-mailニュースをお届けします。受信を希望しますか? <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 受信済(今後も希望)		

Agilent 1200 Infinity High Dynamic Range (HDR-DAD) ソリューション

従来比30倍のリニアリティを実現



Agilent Technologies

【お問合せ】

Agilent Technologies Authorized Distributor

横河商事株式会社 分析営業本部

TEL052-471-7124 FAX052-461-0279

yclana@ycl.yokogawa.co.jp

Agilent 5975 Cシリーズ GCMSD

--1976年、最初のベンチトップGC/MSDを発売!--

- 不活性イオンソース(特許)により微量分析に最適
- 活性化化合物を高感度/高精度で分析
- 独自の金メッキ石英製一体型四重極
- 業界随一の生産性・信頼性



240 IT



7200 Q-TOF **NEW**



7000 TQ



5975T LTM SQ

--AgilentGC/MSD Family--



Agilent 1200 Infinityシリーズ LC

--LCシステム数で世界No.1!--

- ★1220HPLC UHPLCの性能を200万円から提供
- ★1260HPLC UHPLCに求められる要素に幅広く対応
- ★1290HPLC 高い生産性をHPLCのコストで実現
- ★LC/MSDを含め、業界最高のパフォーマンスを発揮

Agilent 6000シリーズ LCMSD

--マスベンダーとして革新的なソリューションと新製品を提供!--

- LC/MSラインアップーシングル四重極、トリプル四重極、TOF、Q-TOF
- 業界随一の堅牢性
- 究極のUHPLCとのシームレスな関係
- 先進的で使いやすいMassHunterソフトウェア



Agilent6100Q



Agilent6400QQ

Agilent 1200 UHPLC



Agilent7100CE

Agilent6500QTOF



Agilent Technologies

【お問合せ】

Agilent Technologies Authorized Distributor

横河商事株式会社 分析営業本部

TEL052-471-7124 FAX052-461-0279

yclana@ycl.yokogawa.co.jp

新製品 サーマル・セパレーション・プローブ

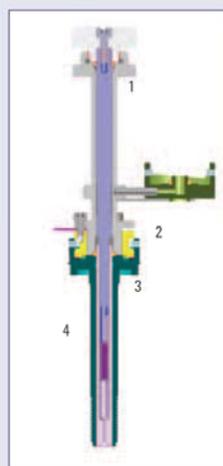

固体、液体、スラリーなどのサンプル分析に対応する、迅速で簡単な MS プローブの選択肢

サーマル・セパレーション・プローブ (TSP) を使えば、固体、液体、スラリーなどのサンプルの分析が高速化します。プロセスは簡単かつクリーンで、サンプル前処理はほとんど必要ありません。GC ライナやカラムの汚染源となる沸点の高い不揮発性の「ダーティサンプルマトリックス」化合物は、マイクロバイアル内に残り、各注入後に廃棄できます。TSP は、食品試験、法医学、環境アプリケーションの複雑なサンプルに使用できます。

特長

- サンプル前処理はほとんど必要ありません。
 - 従来の直接サンプルプローブに比べて、柔軟性が高まり、リスクが低減されます。
 - マルチモード機能により、スプリット、スプリットレス、MMI モードを選択できます。
 - 従来の直接サンプルプローブに伴う汚染のリスクや性能低下を回避します。
- GC/MS システムにおける TSP の 2 つの用途: 分析カラムを用いて、複雑なサンプルを分離できます; 短い不活性キャピラリーカラムを用いて、純サンプルを MS に導入できます。
- スプリット比の調節によりサンプル供給をコントロールできるので、検出器のオーバーロードや汚染のリスクが排除されます。
- 注入口と GC カラムでの温度プログラムにより、複数成分サンプルの同定が向上します。従来の直接サンプルプローブでは得られない性能です。

- Agilent GC/MS システムと統合されていて、Agilent 5975T GC/MS システムのほか、5975C シリーズ GC/MSD、7000 シリーズトリプル四重極 GC/MS、220 および 240 イオントラップ GC/MS と組み合わせた Agilent 7890A GC に対応しています。
- Agilent Thermal Separation Probe は、テルアビブ大学の Aviv Amirav 教授と Shai Dagan 博士により開発されました。Amirav 教授の研究の詳細については、<http://www.tau.ac.il/chemistry/amirav/dsi.shtml> をご覧ください。



1. プローブ
2. TSP アダプタ
3. O-リングつき注入ロライナ
4. TSP サンプルバイアル

サーマル・セパレーション・プローブにより、稼働時間が向上します。

この断面図は、スプリット/スプリットレス注入口またはマルチモード注入口に挿入された TSP を示しています。

- ▶ 注入口温度で気化する化合物のみが、キャリアガスによりカラムから検出器に運ばれ、分析されます。
- ▶ GC ライナやカラムの汚染源となる「ダーティサンプルマトリックス」化合物など、その他の沸点の高い不揮発性化合物は、マイクロバイアル内に残るので、注入後に廃棄できます。

これにより、注入ロライナでの活性部位の発生や、サンプル間のクロス汚染が大幅に低減されます。


【お問合せ】

Agilent Technologies Authorized Distributor

横河商事株式会社 分析営業本部

TEL052-471-7124 FAX052-461-0279

yclana@ycl.yokogawa.co.jp